



大森六中だより

令和5年 12月号
大田区立大森第六中学校
統括校長 菅野 哲郎
TEL 3726-7155

六中だよりはHPからも
ご覧いただけます。



過去・現在・未来

いよいよ師走となりました。3年生は三者面談で進路の目標を決定し、そのために努力する毎日を過ごしていることと思います。三者面談と並行するように、11月27日から校長による面接練習を3年生全員を対象に行っています。

練習時に私からお話するのは、本番の面接者は恐らく、入退室や座った姿勢から、礼儀正しさや落ち着きなどの外面を見て、質問の回答から、志望の熱意や過去の実績、未来への意欲などを推察して、総合的に評価していることを伝えています。

面接中、座っている際に、手足や頭を動かさず、視線を常に相手に向けることで、落ち着いていると判断されます。

また、回答の仕方として、〇〇についての質問の回答が3つあるときは、「〇〇について主に3つあります」と伝えてから、内容を端的に話すと良いと指導しています。

志望の熱意は、志望理由の中に、志望先が説明会や配布物で発信している魅力を具体的に上げて示すことが重要です。教育内容や施設設備、行事、部活動など多方面から3つほど示せれば十分です。

そして、面接で相手が聞き出すことは、生徒の過去の実績と未来の目標と意欲です。過去の実績は、主に中学校で努力した

事をまとめましょう。学習や行事、委員会・係、部活動、ボランティアなど、やはり多方面から3つほど示すことができれば十分です。中学校で努力したことは、進路先でも努力されるだろうと相手が期待できます。

また、これまで世の中に関心をもって生活してきたかを問う質問として、関心のある時事問題を練習で質問しました。回答として、見た・聞いたニュースの内容だけを伝えるのは、関心が高いとは言えません。そのニュースに対する自分の考えを伝えることができれば、関心は高いと言えます。さらに、そのニュースに関わって行動している。または行動しようと思っていることを伝えることができれば、より高い関心をもってしていると評価できます。このことに関わって、大森第六中学校では、シビックアクションとして活動してきました。

未来の目標は、具体的にある方が、そのために努力し、併せてこれからの生活を疎かにしないだろうと相手は期待できます。進路先で自分が特にしたいことも、学習と学習以外でまとめておきましょう。

さらに未来の話の中に、中学校で苦手だった教科や短所について、努力して改善する意欲を伝えたいところです。

これらの事を明るく、誠実に答えることで、面接を乗り切ってください。

持続可能な社会の担い手づくり

大田区立大森第六中学校 研修ユネスコ委員会

令和 5 年を振り返る

今年もあと半月となり、皆様の今年はどのような年だったのでしょうか。

ユネスコスクールとして、また、世界の人が、今年ほど「平和」とは何かを考えた年はなかったと思います。ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエルとパレスチナ紛争など、多くの市民が紛争に巻き込まれ、苦悩の毎日を過ごす事柄が起きています。

一方、先日行われたアラブ首長国連邦ドバイで開催された気候変動対策会議 COP28 (Conference of Parties) では、化石燃料では「削減する」という曖昧な表現で、化石燃料に頼らざるを得ない国への付度が感じられましたが、「化石燃料からの脱却を進め、この重要な 10 年間で行動を脱却させる。」ことに集結しました。早急に温暖化対策をとらなければならない状況であることを未だ理解できない意見が国際会議でも起きていることが残念です。

令和 4 年度から始めたシビック・アクションについてこの学校便りを通じて何回か生徒の活動を伝えて参りました。

年度途中ではありますが、生徒にアンケートをとりシビック・アクションの意義と成果を聞きました。

「シビック・アクションで学習した中で重要だと思ったことを 1 つあげてください」

【1 年 抜粋】

- ・気候変動で少しずつでも地球に影響をもたらしていること
- ・変えたいという意識と行動
- ・色々な人の目線で考える。

【2 年 抜粋】

- ・話し合い（誰でも参加できる対策を考える）
- ・アクションを起こすには、多くの人を巻き込む

ことが大切。

- ・食品ロスは知っていても根本的な理由を知っている人が少ない
- ・同じ目的を持った人と一つの社会問題に対して、様々な議論を行い良い意見を出していくことで、自分が今まで捉えることができなかった視点から、問題解決のために協力してより良い社会を創造していくことの重要さ。

「より良い未来を自ら創るとはどのようなことだと思いますか。」

【1 年抜粋】

- ・世界の現状をみんなが知り危機感を持って行動すること
- ・目先のことだけでなく、何年もあとの未来のことを見据える

【2 年抜粋】

- ・世界の人々が協力して助け合い共存していくこと。
- ・私の力じゃどうにもできないと諦めずに、たとえば話したことない人とコミュニケーションをとったり家族でエコな生活方法を考え行ったりなど小さなことから進めることがやっぱり大切だと思う。
- ・積極的に様々な物事に取り組むこと。例えば、ボランティア活動に取り組み、温暖化対策を積極的に行うことが大切だと考える。

最後に全員の回答をテキストマイニングしたところ、以下ようになりました。問題点を明確にとらえ向き合っている様子が伺え、この授業の成果が出ていると思います。よりよい未来に向けて六中生が成長してくれることを期待して、来年笑顔で良い年を迎えることができることを祈ります。



学習成果発表

12月の三者面談の時期に合わせて日頃の授業や部活での作品を展示しました。

生徒たちは鑑賞シートを手に1時間かけて作品を見学しました。

家庭科部は調理実習で作ったピザやドライカレーなどのレシピ紹介、ハンドメイドの小物展示、美術部は『冬』をテーマにしたイラスト、自然科学部は大田区生徒研究発表会に向けて作成したポスターを展示しました。



1年生は移動教室で作製した木のキーホルダー、家庭科のねんどによる食品分類表、技術科で制作した本立て、美術科の野菜・果物の断面を取り入れた作品、社会科の国調べ、理科の動物分類、生物・物質調べを展示しました。



2年生は社会科見学で訪れた美術館や博物館、防災館のまとめ、技術科で組み立てたテーブルタップ、理科のニワトリの心臓とイカのスケッチ、国語科の四季を意識した散文、社会科の平和・食品ロス・環境問題に関するまとめ、英語科の英文で書かれた将来の夢、美術科の木彫りドアプレートを展示しました。



3年生は修学旅行で制作したこけしと傘のほか、国語科の修学旅行俳句、学習記録、書道作品、社会科の時事ニュース新聞、英語科の英文でのおすすめ曲紹介、技術科の夏野菜レポート、美術科のフェイクスイーツを展示しました。

